

“平成最後の夏休み” J:COM で最も視聴されたのは… 映画は『インサイド・ヘッド』、アニメは『黒子のバスケ』 夏休みは、子どもも大人も楽しめる作品が強い！

行楽シーズン&イベントに疲れたら、家でゆったり…テレビでストレス解消

株式会社ジューピターテレコム（J:COM、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井村 公彦）が提供するTVサービス「J:COM TV」では、「映画」「音楽」「ドキュメンタリー」「海外ドラマ」「スポーツ」「アニメ」など、さまざまなジャンルの番組を放送しております。今回、J:COM では平成最後の夏休み（期間：2018年7月21日から8月31日まで）の視聴数を計測し、ランキングを発表いたします。

<「映画」(洋画、邦画、アニメ)>

ランク	番組名	放送チャンネル
1	インサイド・ヘッド	ディズニー・チャンネル HD
2	スーサイド・スクワッド	ムービープラス HD
3	M:i:III (ミッション：インポッシブル3)	FOXムービー
4	スノーホワイト	ムービープラス HD
5	ミッション：インポッシブル/ゴーストプロトコル	FOXムービー
6	ミッション：インポッシブル	FOXムービー
7	猿の惑星：新世紀 (ライジング)	ムービープラス HD
8	ターミネーター4	ムービープラス HD
9	M:i:II (ミッション：インポッシブル2)	FOXムービー
10	キング・オブ・エジプト	ムービープラス HD



<『インサイド・ヘッド』>
J:COM オンデマンドで配信
セル版：2,500円/無期限
レンタル版：350円/72時間
© 2018 Disney/Pixar

「映画」ジャンル（洋画、邦画、アニメ含む）のベスト10は、ハリウッドの大作が中心。中でも小さなお子さまがいらっしゃる世帯から圧倒的な支持を受けた『インサイド・ヘッド』が1位を獲得しました。11歳の少女・ライリーの頭の中にある擬人化された感情たちが巻き起こす冒険ファンタジー『インサイド・ヘッド』。実際に娘を持つ監督の体験が作品の出発点になったということもあり、ライリーの幸せのために奮闘する“感情”たち＝そのまま子どもを持つ親の気持ちを表現しているように感じられるなど、大人も子どもも感情移入して楽しめる作品であることから、幅広い層に支持が広がったことが考えられます。また夏休み期間中に最新作公開となった『ミッション：インポッシブル』シリーズが4作品ランクイン。さらに『スノーホワイト』、『猿の惑星：新世紀 (ライジング)』、『キング・オブ・エジプト』など、家族そろって楽しめる作品がランクインしており、映画の公開同様、夏休みは“子どもだけ”、“大人だけ”でなく、幅広くファミリー層を取り込んだ作品が上位を占める傾向にあります。

<「アニメ」(海外、国内)>

ランク	番組名	放送チャンネル
1	黒子のバスケ	アニマックス HD
2	銀魂	キッズステーション HD 他
3	クレヨンしんちゃん	テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ
4	名探偵コナン傑作選	アニマックス HD
5	FAIRY TAIL	アニマックス HD
6	ドラえもん	テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ
7	名探偵コナン	アニマックス HD 他
8	それいけ! アンパンマン	キッズステーション HD 他
9	名探偵コナンセレクション	日テレプラス ドラマ・アニメ・音楽ライブ
10	ドラゴンボール改	アニマックス HD



「アニメ」ジャンル（海外、国内含む）は、夏休み＝小さいお子さまが好きなアニメと連想されそうですが、**少年漫画が原作にも関わらず、ハマる女子が多いことでおなじみの『黒子のバスケ』が 1 位獲得**。さらに、時事問題や世相を反映したストーリー展開で、**子どもだけでなく大人が見ても楽しめる話題の『名探偵コナン』シリーズが 3 編成でランクイン**したことを考えると、「映画」だけでなく「アニメ」も大人を取り込んだ作品が強いことがわかります。

民放キー局が改変時期を迎え、“何を見ようかな”と悩んでしまう 10 月も、「J:COM TV」では、「映画」「音楽」「ドキュメンタリー」「海外ドラマ」「スポーツ」「映画」「アニメ」など、**さまざまなジャンルの人気コンテンツを数多く放送**いたします。**食欲の秋、スポーツの秋、ハロウィン…と行楽シーズンで何かとイベントが多い 10 月、周りがお出かけしているのを SNS で見て疲れてしまう方もいるのでは？**ご自宅でさまざまなジャンルの人気コンテンツをイッキ見して、泣くもよし、絶叫するもよし、大爆笑するもよし…テレビを見て、ストレス解消しませんか？

★「J:COM TV」の最新番組情報は、こちらをチェック：

<https://www2.myjcom.jp/tv/>

【調査概要】

本調査結果をご利用いただく際は「J:COM 調べ」と明記をお願いいたします。

- 調査方法 J:COM の TV サービス「J:COM TV スタンダード」か「J:COM TV スタンダードプラス」か「J:COM TV セレクト A/B/C」を契約しており、セットトップボックスが設置され 1 か月間同じ機器を継続利用している方を対象に情報を取得。2018 年 7 月 21 日 から 8 月 31 日の間に放送が開始された番組を対象にリニア視聴と番組録画の数を合計した数
- 実施期間 2018 年 7 月 21 日 AM5:00～2018 年 8 月 31 日 AM4:59

ジュピターテレコムについて <http://www.jcom.co.jp/>

株式会社ジュピターテレコム（本社：東京都千代田区）は、1995 年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの 26 社 73 局を通じて約 543 万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力等のサービスを提供しています。ホームパス世帯（敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯）は約 2,146 万世帯です。番組供給事業においては、17 の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IP マルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※上記世帯数は 2018 年 6 月末現在の数字です。